

公益財団法人 J R 西日本あんしん社会財団
2024 年度 事業報告
(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)

I 事業概要

2024 年度は、これまでの取組みの継続・深度化に加えて、コロナ禍から積立てを始めた特定費用準備資金を活用することにより、公募助成（活動助成）に特別枠を設定し、令和 6 年能登半島地震の被災地・被災者支援活動の募集を行うなど、事業計画に掲げた各事業を着実かつ効果的・効率的に推進した。

1. 心身のケアに関わる事業

(1) 「いのちのセミナー」の開催

コロナ禍を経て、「いのち」や「グリーフケア」等の重要性が増す中、引き続き、多様な観点から「いのち」を取り上げ、「いのち」について深く考える機会を多くの方に提供することを目的として、「いのちのセミナー」を 6 回開催した。

なお、聴講者のニーズを踏まえ、場所・時間等の制約がない「WEB 配信」を基本としつつ、「臨場感のある会場開催」も実施した。

＜第 1 回 開催概要＞ 「YouTube」による録画配信 ※ 視聴回数：2,000 回

配信期間：2024 年 6 月 24 日(月)～9 月 30 日(月)

講師：佐藤 泰子 氏（京都大学大学院 人間・環境学研究科 研究員）

演題：忠犬ハチ公はなぜ待ち続けて死んだのか ～生きる意味は間（あわい）に～

＜第 2 回 開催概要＞ 会場開催及びライブ配信 ※ 会場 526 名、ライブ配信 216 名

開催日時：2024 年 6 月 29 日(土) 13 時 30 分～15 時 00 分

講師：松山 大耕 氏（妙心寺退蔵院 副住職・一般社団法人「国際禅普及協会」代表理事）

演題：死生観と幸せについて

＜第 3 回 開催概要＞ 「YouTube」による録画配信 ※ 視聴回数：1,173 回

配信期間：2024 年 9 月 24 日(火)～2025 年 1 月 6 日(月)

講師：豆塚 エリ 氏（詩人・エッセイスト NPO 法人こんぺいとう企画 理事長）

演題：生きるって大変だけど、ぼちぼち一緒に生きていこう

＜第 4 回 開催概要＞ 「YouTube」による録画配信 ※ 視聴回数：1,438 回

配信日時：2024 年 12 月 23 日(月)～2025 年 3 月 31 日(月)

講師：生田 かおる 氏（公認心理師・臨床心理士 横浜カウンセリングオフィス R&B 主宰）

演題：グリーフを手作りすること ～対話と物語の力～

＜第 5 回 開催概要＞ 会場開催及びライブ配信 ※ 会場 385 名、ライブ配信 186 名

開催日時：2025 年 3 月 1 日(土) 13 時 30 分～15 時 00 分

講師：笠井 信輔 氏（フリーアナウンサー）

演題：足し算で生きる ～がんステージ 4 からの生還～

<第6回 開催概要> 「YouTube」による録画再配信

配信期間：2025年3月21日(金)～2025年6月30日(月) (予定)

配信内容：2022年6月から2023年3月にかけて実施したセミナーの再配信(3回分)

- ・菅原 直樹 氏 老いと演劇 ～認知症の人と“いまここ”を楽しむ～
- ・藤井 理恵 氏 たましいの安らぎ ～病院チャプレンのスピリチュアルケア～
- ・佐藤 慧 氏 グリーフを抱えて生きる ～世界の紛争地・被災地の現場から～

(2) 「小・中学生『いのち』の作文コンクール」の開催

作文を通じて「いのち」の大切さを考える機会を提供するとともに、優れた作品を世の中に発信することで、「いのち」を大切にする「安全で安心できる社会」の風土づくりに繋げていくことを目的として、通算6回目となる作文コンクールを以下のとおり実施した。

<実施概要>

テーマ：あなたにとっての「いのち」

募集期間：2024年7月1日(月)～9月12日(木)

募集対象：近畿2府4県(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)に在住・在学の小・中学生

選考委員：菊池 省三 氏(教育実践研究家) 重松 清 氏(作家) 津村 記久子 氏(作家)

応募状況：4,541人

表彰：大賞(4人)、優秀賞・選考委員特別賞(6人)、優秀賞(20人)、入選(70人)

表彰式：2025年1月26日(日) 14:00～15:30 新大阪ワシントンホテルプラザ

作品集：2025年1月に900部発行、財団HPでも公開

(3) グリーフケアに関わる人材養成講座への助成(上智大学グリーフケア研究所人材養成講座)

誰もが安心して悲嘆等に伴うこころのケアを受けられる社会を目指し、グリーフケアに関する専門知識・技能を持って実践に携わる人材を養成している上智大学グリーフケア研究所の「グリーフケア人材養成講座」に対し、寄付助成を継続的に行っている。

2024年度は、「グリーフケア人材養成課程(大阪・2年制)」に26名が入学し、うち24名が2年次に進級するとともに、在籍する2年次生のうち32名が課程を修了した。また、日本スピリチュアルケア学会の「臨床スピリチュアルケア師」の資格取得を目指す「資格認定課程(1年制)」には12名が入学し、11名が同課程を修了した。

2. 地域社会の安全構築に関わる事業

(1) 「安全セミナー」の開催

阪神大震災から間もなく30年を迎えるとともに、2024年元日には能登半島地震が発生したことを受けて、過去の震災から「地震から命を守るためにすべきこと」を学び、今後の災害に対する身近な備えを考えていただくことを目的にセミナーを開催した。

なお、安全セミナーの開催とあわせて、セミナー終了後、希望者に対して「AED訓練器と訓練用人体験」の場を提供した。

<開催概要>

開催方法：会場（オーバルホール）及びZ o o mウェビナーによるハイブリッド方式
開 催 日：2024 年 11 月 17 日（日） 13：30～15：00
講 演：国崎 信江 氏（危機管理教育研究所 代表、危機管理アドバイザー）
演 題：「能登半島地震や過去の震災から学ぶ 地震から命を守るためにすべきこと
～あなたのスマホを防災ツールとして活用しましょう！～」
参加者数：会場 141 名 Z o o mウェビナー 98 名
※ 終演後、希望者に対しA E D訓練器・訓練人形の体験（約 20 名）

(2) A E D訓練器等の助成による救命処置の普及啓発

① 2025 年度 A E D訓練器等の助成（募集、審査、決定）

救命処置の普及を進めるべく、救命処置の普及啓発活動を積極的に行う団体を公募し、以下の通り A E D訓練器・訓練人形を助成した。

	NPO	学校	会社	その他 法人	任意 団体	その他	計
応募件数 (セット)	3(6)	3(15)	1(1)	2(6)	3(7)	1(3)	13(38)
助成件数 (セット)	1(2)	2(7)	-(-)	1(3)	1(1)	1(3)	6(16)

② 2024 年度 A E D訓練器等助成事業活動成果報告会

助成期間（3 年）終了団体との関係維持や団体同士の交流深度化による活動の活性化などを目的として、前年度に続き、活動成果報告会を以下のとおり開催した。

<開催概要>

開催日時：2024 年 9 月 29 日（日） 14：00～17：00
場 所：ホテルヴィスキオ尼崎 2 階 オーク・ウエスト（報告会）、同イースト（意見交換会）
発 表 者：2 団体
参 加 者：約 30 名（発表者、傍聴者、当財団役員・委員等）
そ の 他：卒業団体への感謝状・記念品の贈呈（4 団体）、助成団体による活動成果発表（2 団体）
川崎貞男氏（南和歌山医療センター 救命救急科 救急・災害医療部長）による救命処
置に関する講演
各団体及び A E D訓練器等助成事業審査委員会委員との意見交換会

3. 「安全で安心できる社会」の実現に関わる事業

(1) いのちの電話（近畿ブロック 7 団体）への助成

現代社会を生きる中で深刻な悩みを抱え、助けを必要としている人からの電話相談を行っている「いのちの電話」の相談員のスキルアップやメンタルケア等に関する取り組みに対し、寄付助成を行っているが、引き続き近畿 2 府 4 県の 7 団体に対して助成を行った。

また、昨年度に続いて、いのちの電話（近畿ブロック 7 団体）において、団体間の連携強化を図るために実施している「いのちの電話近畿ブロック合同研修会」に対しても助成を行った。

(2) 関西遺族会ネットワークへの助成

京阪神に拠点のある遺族会が、個々の遺族会のレベルアップを目指して実施する勉強会を盛り込んだ交流会（定例会）の開催、並びにスキルを蓄積し個々の遺族会にフィードバックすることを目的としたコロナ遺族への対応に対し、助成を行った。

4. 公募助成事業

(1) 2025 年度公募助成（活動及び研究）の実施（募集、審査、決定）

設立初年度より、事故・災害に対する備えやその後のケアに関連する活動・研究を対象とした公募助成を実施している。研究助成に関しては、2021 年度より、その成果の質的向上のほか、社会において活用されることを促すことを目的に複数年(2 年)助成制度を開始した。また、令和 6 年能登半島地震の被災地・被災者支援活動への助成を目的に、2025 年度より活動助成（特別枠）を設定した。

今年度は、前年度に採択した 2024 年度研究助成（2 年助成）5 件全ての継続を決定するとともに、2025 年度に行われる活動や研究を対象とした助成事業について公募を実施し、審査のうえ、応募のあった 99 件のうち、35.7%に当たる 35 件を採択した。

これにより、2024 年度は、「継続」5 件・697 万円、「新規」35 件・2,402 万円、合わせて総計 40 件・3,099 万円の助成を行うとともに、特別枠については 9 件・428 万円の助成を行った。

区分		応募件数	助成件数	助成金額
継続	研究助成（2 年目継続）	—	5 件	697 万円
新規	活動助成	48 件	26 件	1,217 万円
	研究助成 ※	51 件	9 件	1,185 万円
小 計		99 件	35 件	2,402 万円
総 計		—	40 件	3,099 万円
活動助成（特別枠）		17 件	9 件	428 万円

※2025 年度研究助成のうち、複数年(2 年)助成は、6 件・805 万円（2 年目 778 万円）

(2) 第 14 回公募助成成果発表会

助成活動の成果の社会的還元や助成先同士の交流などを目的に、2023 年度に実施された助成活動及び研究の成果発表を行う「成果発表会」を以下のとおり開催した。

<開催概要>

開催日時：2024 年 8 月 5 日(月) 14:00～18:15

場 所：新大阪ワシントンホテルプラザ 2 階 老松・若竹（発表会）、同紅梅・桜（交流会）

発 表 者：6 団体、研究者 5 名

参加者数：約 70 名（発表者、傍聴者、当財団役員・委員等）

そ の 他：成果発表会（活動 6 団体、研究者 5 名、白取委員長による講評）

※一層の質的向上を目的に、団体・研究者の関係者にも参加を呼びかけ
意見交換会（出席団体の活動報告書ポスター掲出を含む）

Ⅱ 財団運営に関わる事項

1. 機関運営（評議員会、理事会、事業審査評価委員会等の開催）

(1) 評議員会

開催回数：1回（うち、書面開催0回）

決議事項等：2023年度計算書類等の承認、評議員の選任（補欠）

(2) 理事会

開催回数：3回（うち、書面開催0回）

決議事項等：業務執行状況報告のほか、以下の事項について決議を行った。

[第1回 2024年6月3日]

2023年度事業報告及び計算書類等の承認、評議員会の招集

[第2回 2024年11月27日]

新たな特定費用準備資金の設定の承認

[第3回 2025年3月5日]

2024年度収支予算の変更及び特定費用準備資金の積立ての承認、

2025年度公募助成（活動及び研究）の採択決定等の承認、

2025年度「上智学院、いのちの電話」への助成の承認、

2025年度AED訓練器等助成事業における採択決定の承認、

2025年度基本財産の運用基本方針の承認、

2025年度事業計画及び収支予算の承認、

2026年度公募助成（活動及び研究）の基本方針の承認、

2026年度AED訓練器等助成事業の基本方針の承認

(3) 事業審査評価委員会

開催回数：3回（うち、書面開催0回）

審議事項等：理事長からの諮問に基づき、以下の事項について審議を行い、理事長へ答申を行った。

[第1回 2024年5月22日]

2023年度助成事業の実績・成果等の確認・評価、

2023年事業報告(案)、2025年度公募助成の内容及び方法に関する指導・助言

[第2回 2024年12月18日]

2024年度研究助成(2年助成)の助成継続可否、

2025年度公募助成(活動及び研究)の審査

[第3回 2025年1月31日]

2024年度公募助成の助成対象事業の中止申し出

2025年度助成先の審査、

2025年度公募助成(活動及び研究)の審査、

2025年度事業計画(案)に対する指導・助言

(4) AED訓練器等助成事業審査委員会

開催回数：2回（うち、書面開催0回）

審議事項等：理事長からの諮問に基づき、以下の事項について審議を行い、理事長へ答申を行った。

[第1回 2024年5月13日] 2023年度AED訓練器等助成事業における実績・成果等の確認・評価、 2025年度AED訓練器等助成事業の内容及び方法に関する指導・助言 [第2回 2025年1月8日] 2025年度AED訓練器等助成事業の審査
--

2. その他

(1) 基本財産の運用

基本財産20億円は、西日本旅客鉄道株式会社の無担保社債（20年物）により10億円、国債（20年物）により10億円を継続して運用した。

(2) 広報活動及び情報公開

当財団のホームページにおいて、財務資料等の基本情報の開示や財団事業の実施概要、実施結果等の公表を行うとともに、公募助成やAED訓練器等助成で当財団が助成を行っている団体の取り組みを紹介した。また、事業実施時において、JR主要駅へのポスター・パンフレット掲出や記者クラブを通じたプレス発表に加えて、SNS（Facebook 企業ページ・Facebook 広告・LINE 広告）を活用した情報発信やPR TIMES社の非営利団体活動支援プロジェクトに参画しネット媒体への情報提供も行った。

このほか、財団紹介用パンフレットの制作・配布、広報誌「R e l i e f」の発行（2024年5月、11月）、並びに「いのちの作文コンクール」作品集の製作及び参加校や地域の図書館等への配布など、財団事業の認知度向上のための広報活動を実施した。

(3) 報道実績

- ・いのちの作文コンクール小・中学生の作品募集 … 交通新聞（6/26）
※ネット28媒体（読売新聞オンライン・東洋経済オンライン・現代ビジネス等）
- ・2024年度公募助成を募集／AED訓練器等助成先を募集 … 交通新聞（8/21）
※ネット24媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン等）
- ・いのちの作文コンクール表彰式 … 交通新聞（2/4）

[ネット媒体のみ]

- ・第1回いのちのセミナー … 32媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン等）
- ・第2回いのちのセミナー … 35媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン等）
- ・第3回いのちのセミナー … 24媒体（産経ニュース・時事ドットコム・朝日新聞デジタル等）
- ・第4回いのちのセミナー … 26媒体（読売新聞オンライン・東洋経済オンライン・産経ニュース等）
- ・第5回いのちのセミナー … 25媒体（産経ニュース・時事ドットコム・朝日新聞デジタル等）
- ・第6回いのちのセミナー … 33媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン等）
- ・2024年度安全セミナー … 43媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン等）
- ・いのちの作文コンクール受賞作品決定… 37媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン等）
- ・AED訓練器等助成先決定 … 21媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン等）
- ・公募助成先の決定 … 24媒体（時事ドットコム・読売新聞オンライン・東洋経済オンライン等）